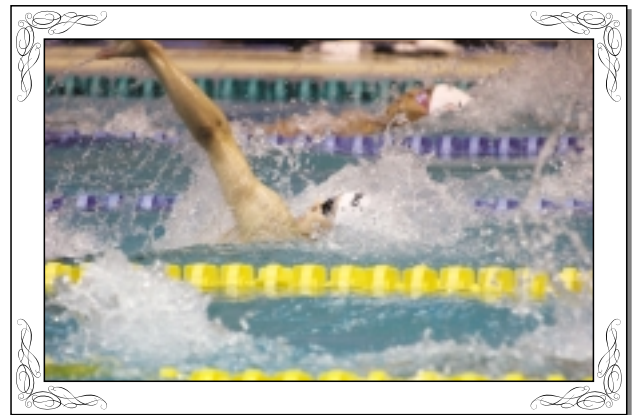




## 夢は続いていた！ 春の甲子園出場決定

県大会3季優勝を掲げ、10月7日からセンバツ目指して挑んだ東北大会は、まさに激戦であった。1・2回戦は、「逆転の花巻東」で凌ぐ。準決勝は接戦の末に光星学院に惜敗、センバツの夢は途絶えたかに思えた。

しかし、光星学院が神宮大会で優勝、東北枠が1つ増えたのだ。そして1月27日午後3時8分、吉報がもたらされ、3年ぶり2度目の出場が決定した。



## 留まるところを知らない泳ぎを見せる

全国中学校大会を制し、鳴り物入りで入学した陣ヶ岡胤選手。インターハイ・国体と、全国出場を相次いで果たした。しかし、結果は思うように出なかった。それでもその後、出場する大会では自身の持つ県記録を更新し続けた。

1月29日の「全国JO春季岩手県予選会」で、県記録更新とともに同全国大会とジャパンオープン国際大会への出場権を獲得した。



## ソフトボール部、創部から10周年を迎える

本校の女子教育をリードすべく創部されたソフトボール部。

平成13年度から始まった本校の学校・教育改革の一環として、女子生徒の礼儀作法の乱れを正し、努力することのたいせつさや忍耐力についてソフトボールを通して学んだ結果、インターハイ4回出場他、華々しい活躍を見せる。